

# 大帝国の出現と律令国家の形成

## ◇隋と唐の中国統一・・・

6世紀末、**隋**が中国を統一。**律令**を整える。

律令の律は刑罰についての決まり、令は役所のしくみや税の負担など政治についての決まりである。倭の大和政権などの東アジアから隋に学ぼうとする動きがあった。

7世紀前半に、**唐**が隋を滅ぼし、隋を上回る大帝国をつくる。

律令制を確立・・・皇帝を頂点とし、全国を支配する中央集権のしくみを整える。戸籍に基づき土地を等しくあたえ、代わりに税や兵を負担させる。

## ◇新羅の朝鮮半島統一・・・

**新羅**・・・唐と結び、百済・高句麗を滅ぼし、朝鮮半島を統一。

唐の制度をとり入れ、中央集権のしくみを整え、**仏教**を盛んにした。

## ◇イスラム世界の拡大・・・

中央アジアから北アフリカでは**ムハンマド**の後継者がイスラム教を広め、8世紀には広大なイスラム世界が拡大された。

## 飛鳥文化

### ◇豪族たちの争い・・・

6世紀・・・鉄製農具の普及により、農業が発展し、豪族たちの力が強まる。

地方や中央の豪族どうしの争いが激しくなり、渡来人と結び、中央での財政を受け持った**蘇我氏**が大和政権の実権をにぎった。蘇我氏（仏教）と物部氏（日本古来信仰）

### ◇聖徳太子の政治と飛鳥文化・・・

6世紀末、実権を握った豪族の**蘇我氏**の力が強い。

蘇我馬子に対立する大王を暗殺。これにより、**推古天皇（女帝）**が即位。

甥の**聖徳太子**が摂政に。

聖徳太子の政治（7世紀はじめ）→**冠位十二階**の制度。**十七条の憲法**（仏教や儒教の教えの元にしたもの）→豪族が争いをやめ、天皇中心の政治へ。

**遣隋使**を派遣する。（中国文化を学ぶため）

**飛鳥文化**・・・飛鳥地方を中心に栄えた日本最初の**仏教**文化。

聖徳太子は法隆寺を建てる→釈迦三尊像（仏像）、玉虫厨子（工芸品）

飛鳥文化は、朝鮮半島や南北朝時代の中国文化が大きく影響。また、西アジア、ギリシャに由来する文化の影響もみられる。

## ◇大化の改新～国づくり・・・

7世紀半ば、聖徳太子の死後、蘇我氏が権力を強め、政治を独占。

645年 **大化の改新**・・・**中大兄皇子**・**中臣鎌足**が蘇我氏を倒す。

公地公民や税制の整備。（国が土地や人民を支配）

日村江の戦い（663年）・・・日本は唐・新羅軍に敗北→唐・新羅軍に備えて北九州に防人を配置。

中大兄皇子・・・即位して**天智天皇**に。（戸籍を作る）

没後、後継ぎをめぐり**壬申の乱**。

→大海人皇子（弟）が勝利して**天武天皇**に即位。

## ◇律令国家成立・・・

701年・・・唐の律令にならい大宝律令がつくられる。律令国家。

天皇を中心にし、皇族、中央の豪族によって進められる。

## ◇奈良時代・・・

710年・・・律令国家の都として、奈良に**平城京**が作られ、政治の中心となる。（唐の長安にならう）

貨幣（和同開珎）が使われ、道路が整備された。

東北に蝦夷、宮城に多賀城、九州に**大宰府**をおき、外交や軍事を担当。

班田収授の法・・・6年ごとに戸籍をつくり、6歳以上に**口分田**を支給し死後返却。

成人の男子には**租・庸・調**の税制も定めた。

723年・・・三世一身法→新しい開墾地は三代私有をみとめた。

743年・・・**墾田永年私財法**→新たに開拓した土地は開拓したものが永久に所有できる。

これにより、公地・公民は崩れて、力のある貴族が私有地を広め、荘園に発展。

## ◇遣唐使の派遣・・・

奈良時代、遣唐使を派遣し、唐の進んだ制度・文化を学ぶ。阿倍仲麻呂。

## ◇天平文化・・・

聖武天皇により、貴族中心の仏教文化が栄えた。これを**天平文化**という。  
(遣唐使の影響大)

### 仏教を広める

- ①寺院が建てられる・・・国ごとに国分寺・国分尼寺を、都には**東大寺**を建てる。
- ②行儀・・・一般の人にも仏教をひろめ、用水路や橋をつくる。
- ③**鑑真**・・・唐の高僧で、渡航に何度も失敗し目を失明しながらも日本に渡り仏教を広めた。

### 建築・・・

東大寺の正倉院は、西アジアやインドの影響がみられる工芸品などが保存。(シルクロードより唐につたわったもの)

### 彫刻・・・

興福寺の阿修羅像、東大寺の日光・月光菩薩像など

### 書物・・・

**古事記**・**日本書紀**・風土記・**万葉集**